

第 5 7 8 回 放送番組審議会

1. 日 時 2021年10月19日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員長	佐藤 健志
副委員長	加藤 千晶
委員	前田 千香子
委員	越沼 洋一
委員	緑川 智恵子
委員	蛸崎 奈津子
委員	岩山 徹
委員	久保 公人

欠席委員 1名

委員	林 英彰
----	------

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
畑山 篤	(常務取締役 報道制作・編成担当)
池田 学	(常務取締役 経営企画局長 兼 技術局長)
石川 亮	(取締役 営業・プロジェクト事業担当) ※リモート出席
桑島 広実	(報道制作局次長 兼 制作部部長)

事務局

藤村 恵一	(編成局長兼編成部長)
-------	-------------

4. 議 題

1. 8月22日(日)午前11:24～午後0:24
「24時間テレビいわて2021」

2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・視聴者からのご意見
- ・2021年4月期 週間番組種別放送時間報告

6. 意 見

【委員側意見】

○障がい者の方が関わっていることを前面に押し出すのではなくて、ものづくりに関わる人たちの個性を尊重して多様性を認めていくような姿勢が素晴らしいと思った。

○あえて障害というバックグラウンドには触れずに商品の品質を全面に出して評価を得、そして販路を確保し震災直後には独立起業までしてしまう、そうした行動力に敬意を表したいと思った。

その姿勢が障がい者の方の誇りや向上心、さらには購買者の方との信頼関係に繋がっているのだと思い、24時間テレビに相応しい内容だったと感じた。

○(障害のある方に)こちらから「何かお手伝いしましょうか」と声をかけるのが普通になればいいと思った。いざとなるとどう声をかけていいか分からなく躊躇してしまうこともあるので、この機会にどうしたらいいか、もう1回考えたいと思うきっかけになった。

○「障がい者」「障がいがある方」という言葉をたくさん使っていて、「えっ」と最初思ったが、それが嫌味や差別、偏見には感じられず、障害のある方と健常者が普通にバリアのない状況で一緒に仕事をしていることに非常に感銘を受けた。

○ゲストの「ミスさんさ踊り」のインタビューを、番組の冒頭・中盤・最後と3回に分けたためにやや断片的になってしまったのではないかという印象を持った。

○来年、もしも「盛岡さんさ踊り」のパレードが実施できるのであれば、パレードが出来なかった昨年と今年のミスさんさ踊りが、来年のミスの皆さんと共にパレードに参加できればいいのではないかなと思った。

○コロナの影響があって募金活動を自粛したということと、キャッシュレスの募金を導入されたっていうことだが、コロナ前の募金と、金額がどう変わったか。

【局側意見】

○ミスさんさの皆さんにVTRを見てのコメントをしてもらうのが最善の方策だったかなと思うが、実はやはりミスさんさの皆さん方とは「盛岡さんさ踊り」のPRで出ていただくという約束があるので、VTRについて個人的な見解などを述べてもらうのが難しい状況だった。断片的な印象になったかなと思う。

○今回の24時間テレビの寄付金は全国で8億8千6百万、去年同じような状況だったが、8億6千6百万。コロナになってインターネット、キャッシュレスをやったからという事で特段減ったとかということは結果的にはないという風に言えると思う。

○番組のテーマとして24時間テレビ全体では「想い～世界は、きっと変わる。」コロナに負けないという意思表示のテーマだが、テレビ岩手の番組でも日本テレビと同じような想いというテーマ「強い想いを持った方が岩手にも居る」という1時間を作りたいと考えた。

7. 審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日

- ① 自社放送 10月26日（火）11：45-11：52「あなたと歩むテレビ岩手」
- ② テレビ岩手本社での据え置き
- ③ 読売新聞への掲載（別掲）
- ④ 自社HPでの掲載 <https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation>